

「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅲ」調査結果の概要

1 調査の目的・実施状況

(1) 目的

「秋田市しあわせづくり市民意識調査Ⅲ」は、平成27年度に策定する次期総合計画の基礎資料として、市民意識の変化や成長戦略をはじめとする市施策への評価などを把握するために実施した。

(2) 実施状況

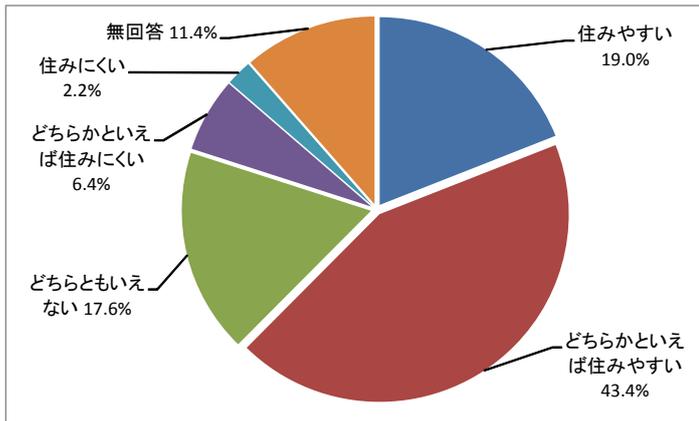
- ア 実施期間 平成26年9月12日（金）～10月6日（月）
- イ 対象者 15歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人
- ウ 実施方法 郵送による無記名アンケート
- エ 有効回答者数 1,617人（回答率53.9%）

2 調査結果の要点

(1) 住みごちについて【継続】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P9～12

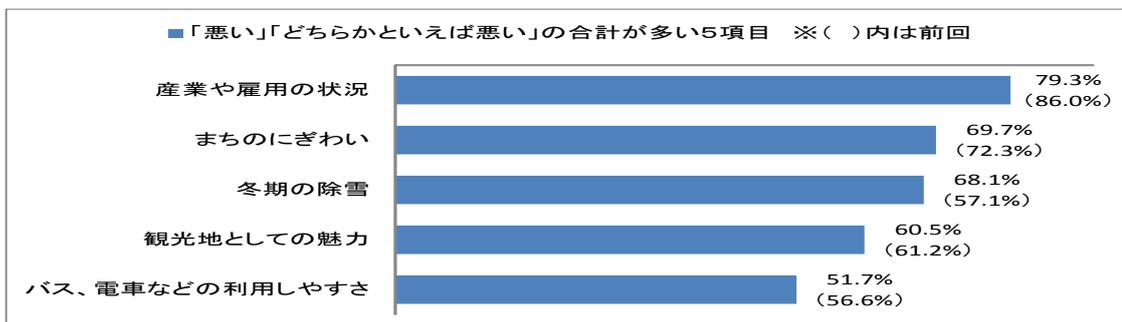
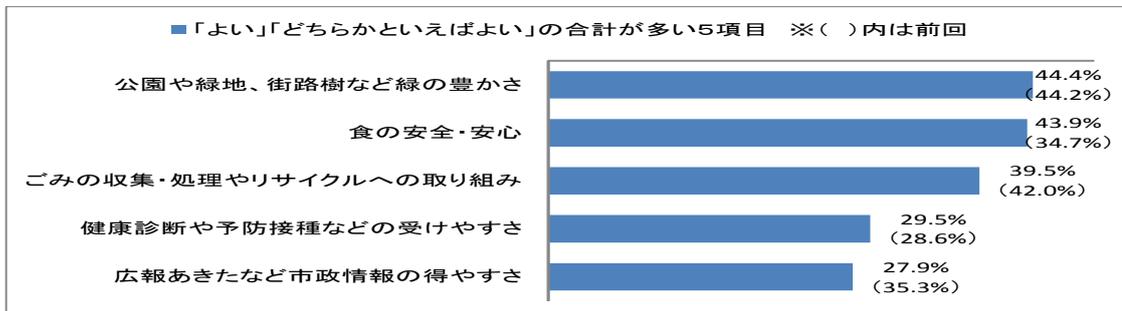
ア 全体的評価について

本市の住みごちに対する全体的な評価は、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が62.4%（前回66.9%）、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の合計が8.6%（前回11.3%）で、総合的に住みやすい都市と評価されている。



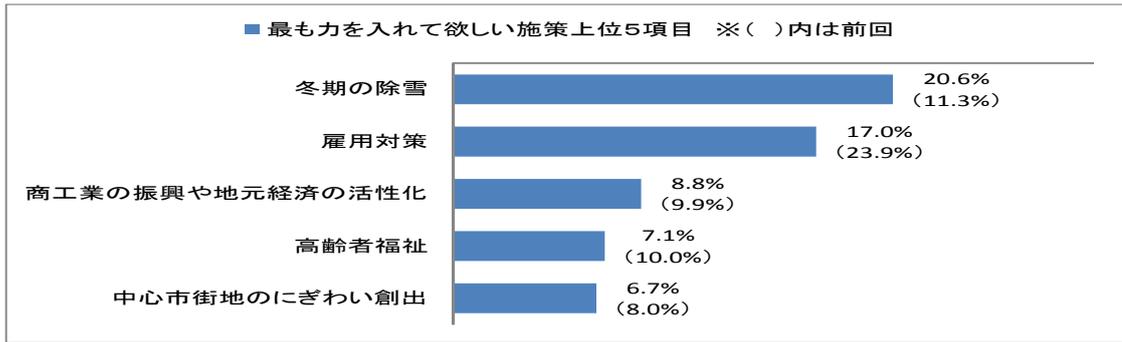
イ 分野別評価について

分野別評価（全30項目）で「よい」「悪い」の評価が多かった項目は、前回調査と概ね同じであり、次のグラフのとおりであった。



(2) 秋田市の施策について【継続】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 49、50

市民が最も力を入れて欲しいと考える施策には、住みごこちの分野別評価で「悪い」と評価された項目が多く挙げられた。



(3) 成長戦略事業について【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 55～68、136、137

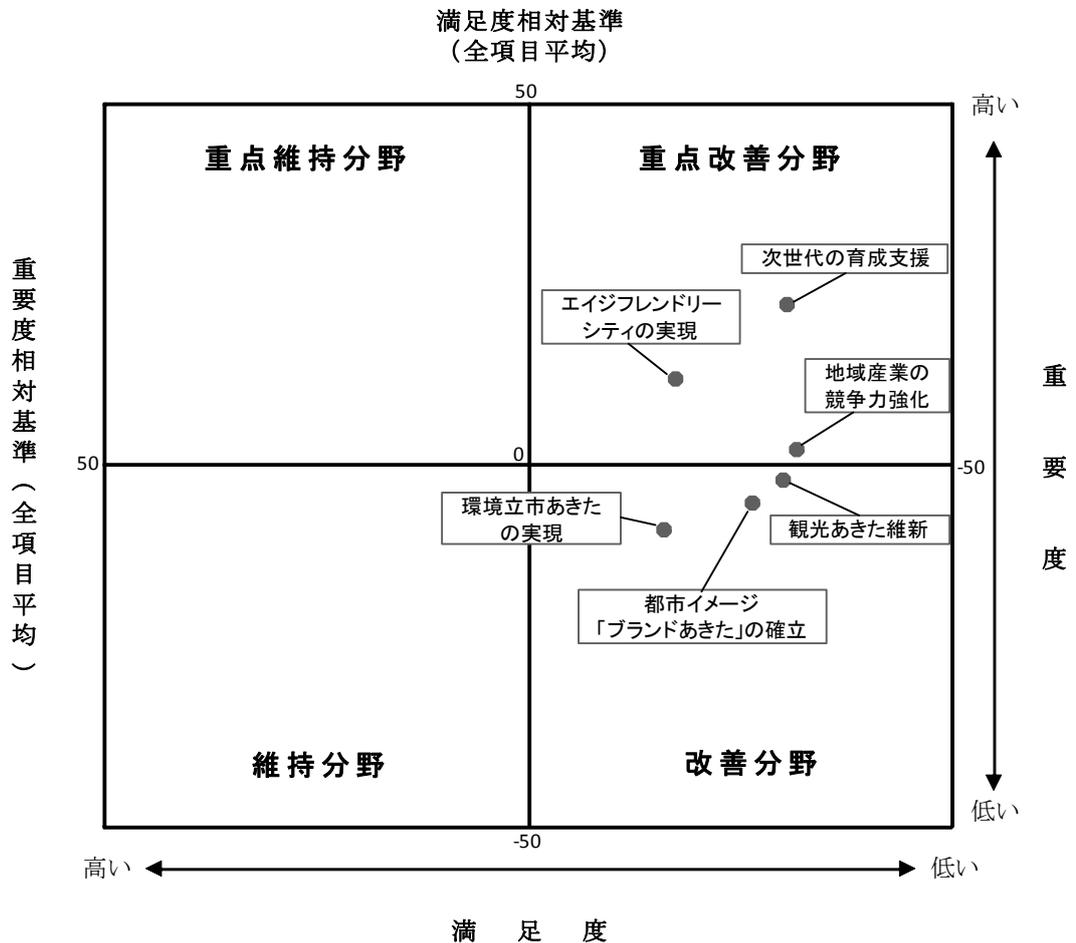
ア 重要度および満足度 ※算出方法は、次ページの解説参照

成長戦略事業の重要度は、「戦略6 次世代の育成支援」が最も高く、「戦略4 環境立市あきたの実現」が最も低かった。

一方、満足度は、「戦略4 環境立市あきたの実現」が最も高く、「戦略2 地域産業の競争力強化」が最も低かった。

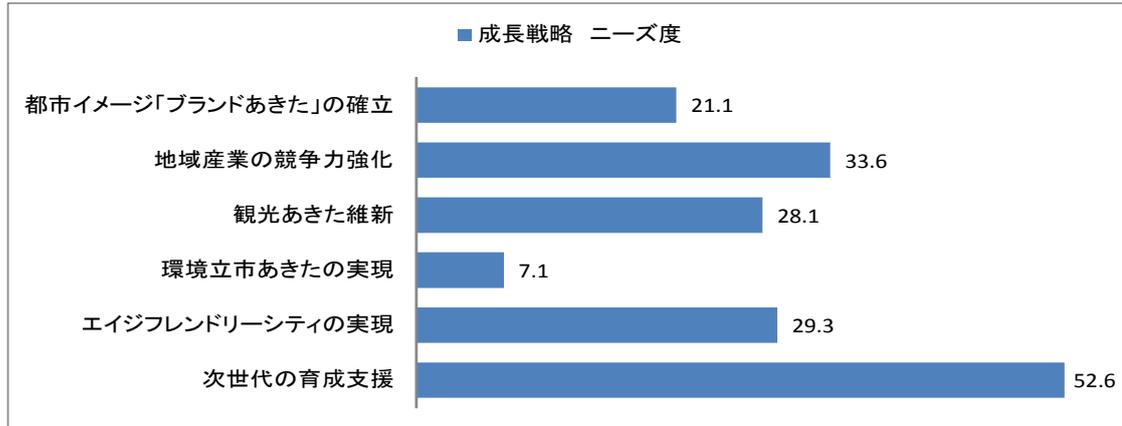
成長戦略	重要度	満足度
戦略1 都市イメージ「ブランドあきた」の確立	-5.2	-26.3
戦略2 地域産業の競争力強化	2.1	-31.5
戦略3 観光あきた維新	-1.9	-30.0
戦略4 環境立市あきたの実現	-8.8	-15.9
戦略5 エイジフレンドリーシティの実現	12.0	-17.3
戦略6 次世代の育成支援	22.2	-30.4

この結果を散布図に表すと、下図のとおりである。



イ ニーズ度 ※算出方法は、下記解説参照

重要度の評価点から満足度の評価点を差し引くことによりニーズ度（市民が市に取り組んでもらいたいと考えている度合い）を算出したところ、「戦略6 次世代の育成支援」が最も高く、「戦略4 環境立市あきたの実現」が最も低かった。



【解説】重要度・満足度・ニーズ度の算出について

①重要度・満足度の算出式

$$\frac{[\text{高い（満足）と回答した数} \times 2 \text{点}] + [\text{どちらかといえば高い（満足）と回答した数} \times 1 \text{点}] + [\text{どちらかといえば高くない（不満）と回答した数} \times -1 \text{点}] + [\text{高くない（不満）と回答した数} \times -2 \text{点}] + [\text{分からないと回答した数} \times 0 \text{点}]}{(\text{有効回答数} \times 2)} \times 100$$

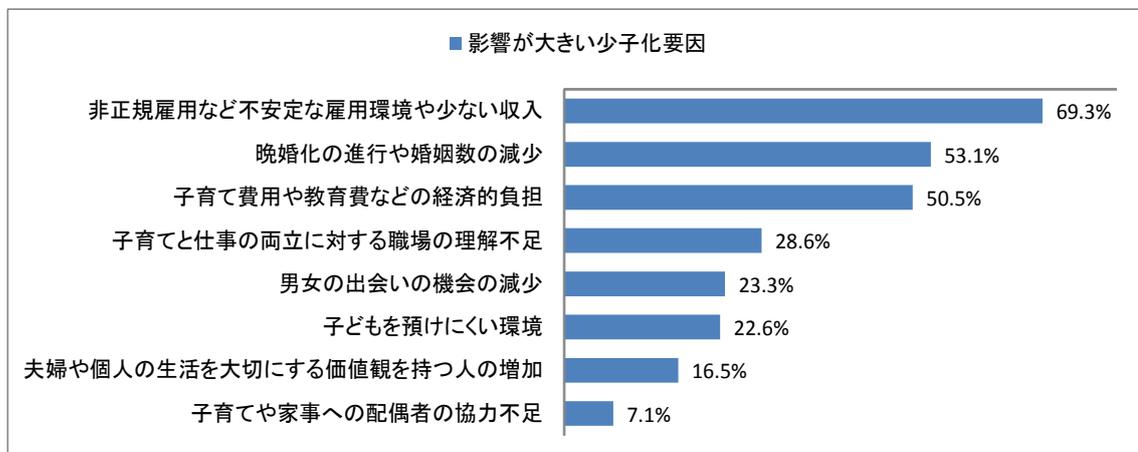
②ニーズ度の算出式

$$[\text{ニーズ度}] = [\text{重要度}] - [\text{満足度}]$$

(4) 人口減少社会について【新規】・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 69～88

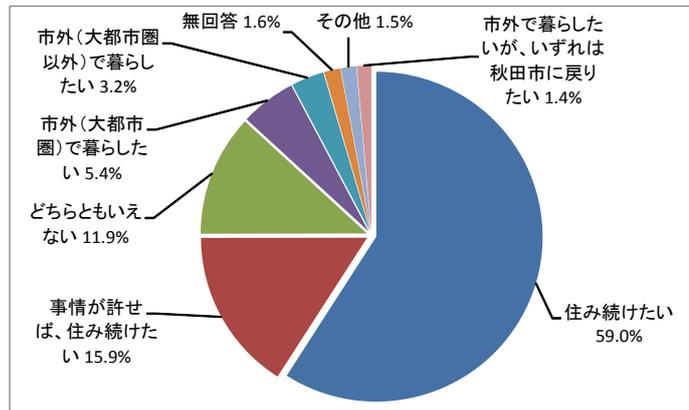
ア 少子化の要因

少子化の要因として影響が大きいと思うことは、「非正規雇用など不安定な雇用環境や少ない収入」という回答が最も多かった。



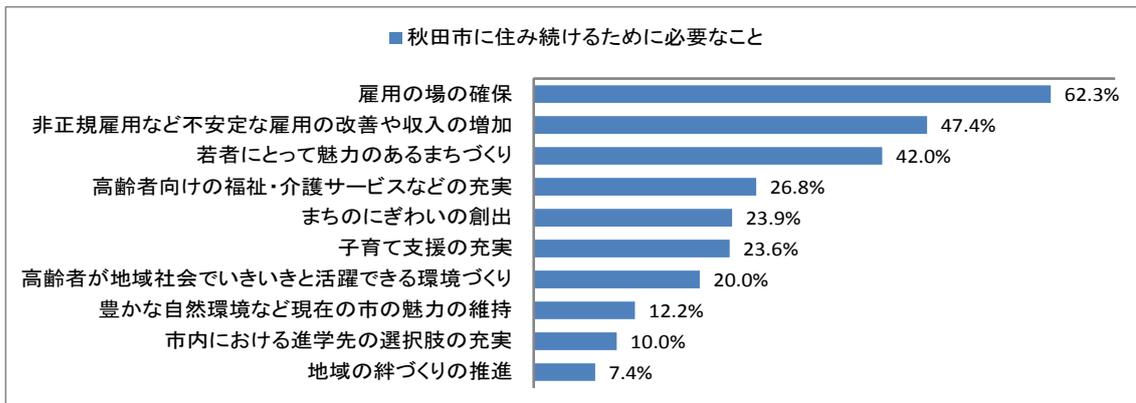
イ 秋田市に住み続けたいか

「住み続けたい」59.0%、「事情が許せば、住み続けたい」15.9%で、あわせて74.9%の市民が本市に住み続けたいと考えている。



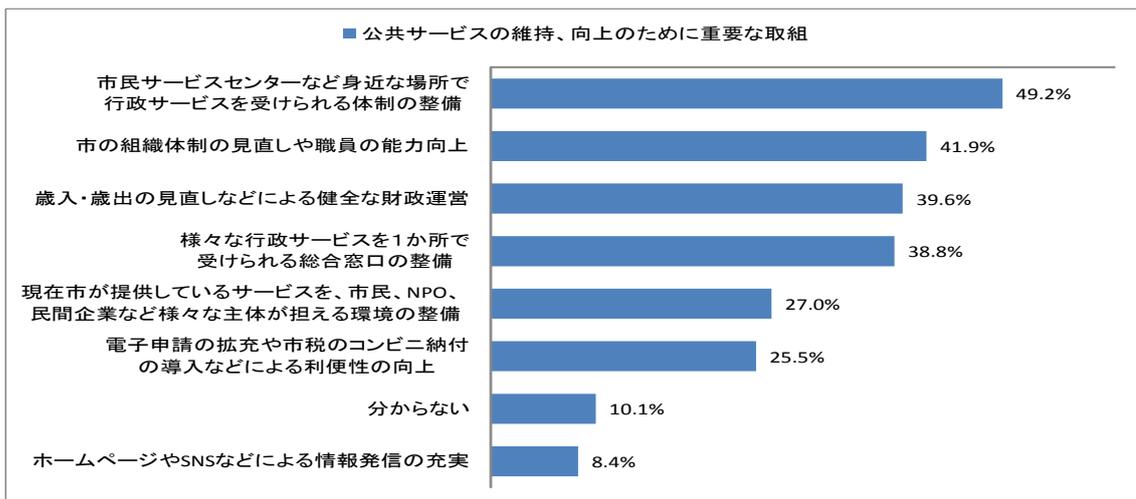
ウ 秋田市に住み続けるために必要なこと

今後も秋田市に住み続けるために必要だと思うことは、「雇用の場の確保」という回答が最も多かった。



エ 公共サービスの維持、向上のために重要な取組

人口減少社会においても、公共サービスの質を維持、向上させていくために重要だと思う取組は、「市民サービスセンターなど身近な場所で行政サービスを受けられる体制の整備」という回答が最も多かった。



(5) NPO・ボランティア活動について【継続】・・・・・・・・・・ P 89、90

ア 市民活動への関心

「関心がある」「ある程度関心がある」の合計が43.7%（前回42.5%）であった。

イ 市民活動への参加

「積極的に参加している」「ときどき参加している」「参加したことがある」の合計が29.7%（前回26.4%）であった。一方、「参加したことがない」が68.5%（前回69.4%）であった。